
古賀市環境審議会（第34回）議事録

1 期日 平成26年8月22日（金曜日）午前10時00分から午前11時45分まで

2 場所 古賀市役所 中会議室（第2庁舎2階）

3 出席委員（13名）

| | | | |
|-----|-------|-----|--------|
| 会 長 | 小野 勇一 | 委 員 | 田中 澄子 |
| 副会長 | 薛 孝夫 | 委 員 | 新町 直子 |
| 委 員 | 二渡 了 | 委 員 | 大坪 茂樹 |
| 委 員 | 仁科 信春 | 委 員 | 柴田 幸次 |
| 委 員 | 渡 久行 | 委 員 | 森田 和美 |
| 委 員 | 嶺井 久勝 | 委 員 | 水上 シゲ子 |
| 委 員 | 清水 佳香 | | |

4 欠席委員（2名）

| | | | |
|-----|-------|-----|------|
| 委 員 | 島岡 隆行 | 委 員 | 谷本 潤 |
|-----|-------|-----|------|

5 傍聴者数 2名

6 事務局出席者職氏名

| | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 副市長 | 坂本 正美 | 環境課長 | 橘 勇治 |
| 環境整備係長 | 長崎 英明 | ごみ対策係長 | 智原 英樹 |
| 業務主査 | 山鹿 千鶴 | 主任主事 | 重松 真由美 |

7 議事内容

- ・環境審議会委員の委嘱について
※欠員（常岡寿子委員）に伴うもの
- ・第2次古賀市環境基本計画実施計画シート（案）について
- ・平成26年版古賀市環境報告書（案）について

8 配布資料

| | |
|--------|--------------------------|
| （事前配布） | 次第 |
| | 第2次古賀市環境基本計画実施計画シート（案） |
| | 平成26年版古賀市環境報告書（案） |
| （当日配布） | 変更箇所表（平成26年版古賀市環境報告書（案）） |

1. 開会あいさつ

- ・副市長あいさつ
- ・委員の委嘱（水上シゲ子氏）
- ・人事異動により着任した職員の紹介（智原市民部長、智原ごみ対策係長）

2. 議事内容

(1) 第2次古賀市環境基本計画実施計画シート（案）について

～事務局より説明～

| | |
|-----------------|--|
| 質問意見： (小野会長) | [P.1 自然環境A-①生物多様性の保全に向けた体制の構築] 「自然環境調査実施検討委員会」に関して、古賀市環境政策調整委員会意見に「古賀市の特性に通じている人材の確保が望まれる。」とあるが、かつ生物環境の状況を把握しているという人材は少ない。人材を発掘する必要がある。 |
| 質問意見： (大坪委員) | 古賀市環境政策調整委員会とはどういう組織であるのか。 審議会としての意見にも政策調整委員会の意見と同じような意見がでる可能性もある。 |
| 回 答： | 古賀市環境政策調整委員会とは、内部組織であり、部長、関係課長で構成された組織。審議会前に内部で意見をまとめたものを、古賀市環境政策調整委員会意見欄に記載している。 同じような意見がでるのではという点に関しては、審議会で意見がでなかったシートについては、政策調整委員会と同等の意見と取り扱いたいと考えている。 |
| 質問意見： (仁科委員) | この意見はどう反映させるのか。両者の意見は、どちらをどれだけ重視するのか。対立した際にはどうするのか。意見の取り扱いについてどうなっているのか。 |
| 回 答： | 事務方の意見として記載しているが、事務方では気付かない点もあると思われ、審議会の意見は尊重したいと考えている。 第2次環境基本計画P.96に体制を掲載している。 |
| 質問意見： (小野会長) | 特に上下はなく、相互に意見を交流するという事になっている。 |
| 質問意見： (新町委員) | 古賀市環境政策調整委員会は、この意見をだすにあたり何回の会議で、どれくらいの時間かけてこの意見を集約したのか。 |
| 回 答： | 期間を区切って、委員から意見を集約したものである。 |
| 質問意見： (新町委員) | 政策調整委員が集まって話し合った、ということではないのか。 |
| 回 答： | 担当レベルで課を超えて横断的に協議し、部内で統一された意見のもとに集約したものである。 昨年度、基本計画を作成する際には会議を開催して実施したが、今回は会議を開かない手法で実施した。 |
| 質問意見： | 本日は、シート内容についての御意見をいただきたい。 |

| | |
|-----------------|--|
| (小野会長) | 先ほど人材発掘の話がでたが、人材発掘は非常に困難であると思われるが努力しないといけない。 |
| 質問意見： (仁科委員) | [P.1 自然環境A-①生物多様性の保全に向けた体制の構築] 「自然環境調査実施検討委員会の立ち上げ及び継続実施」に関して、5カ年のスケジュールをさらに明確にしなければ、立ち上げだけになりかねないのではないか。 |
| 回 答： | 修正する。委員意見のとおり、立ち上げと継続実施は区切った形で掲載するのがよいと考える。 |
| 質問意見： (森田委員) | [P.24 資源循環 A-①生ごみを減量するための水切りやマイバックなどの啓発促進（家庭系ごみ）] P.24 A-①のシートは、生ごみ啓発促進だけではなく、生ごみの資源化についての取組を記載してはどうかと思うが啓発促進ではないので記載は難しいのだろうと捉えている。 [P.25 A-②資源化率を上げるための分別品目の検討（家庭系ごみ）] このシートについては、資源循環に関してごみ処理基本計画に則った資源循環政策が必要ではないか。 A-① もしくはA-②どちらかにごみ処理基本計画に基づいた循環システムの構築をするべきである、ということを入れてほしい。 |
| 質問意見： (大坪委員) | 1人1日あたりのごみ処理量の現状784gを目標665gに減らすと記載されているが、具体性に欠けるのではないか。 再生可能エネルギーやごみをエネルギー源にすることについても視野に入れた表現にし、その上で当面実施する取組について記載してはどうか。 |
| 質問意見： (水上委員) | 農業女性活動促進事業推進協議会においても生ごみに関しては、コンポストや畑に埋めるなどの取組を実施してきた。具体的な取組を記載したほうが自分たちの問題として受け取ることができると思う。 |
| 質問意見： (新町委員) | 水切りを徹底すれば生ごみの水分は減るのに市の意気込みが見えない。職員が地域にでかけていって指導するという表現がほしい。 |
| 質問意見： (小野会長) | 第2次基本計画に記載すべき内容である。 |
| 質問意見： (仁科委員) | 具体的に記載することが必要である。 スケジュールに関しては、水切りやマイバックの啓発について、例えば、平成26年度から30年度に啓発すると書いてあるが、実態調査→啓発活動→2年度再調査→向上していれば継続、そうでなければ啓発のやり方を見直す、などスケジュールを具体的にする必要はある。 |
| 質問意見： (清水委員) | スケジュールの件については、この1枚のシートの中では収まりきらないためこのような表記になっているのではないか。 [P.24 資源循環 A-①生ごみを減量するための水切りやマイバックなどの啓発促進（家庭系ごみ）]については新規性がない。追跡調査が新しい取組と考えられるが、効果性の検証がなされていない。検証の具体性がない。 目標値である1人1日あたりのごみ処理量665gが達成されるとは思えない。 |

| | |
|-----------------|---|
| | スケジュールの詳細版を明らかにしてほしい |
| 質問意見： (二渡委員) | 啓発とは具体的に何をするのか。 |
| 回 答： | 昨年度、基本計画を作成、その後すぐにこの実施計画を作成した経緯があり、 詳細が追いついていない部分もある。 ごみの件は、環境基本計画で大きな進め方を示し、下位計画のごみ処理基本計画の中で詳細を示している。 毎年発行する環境報告書にPDCAを掲載する予定としている。その中では過年度の取組だけでなく、次年度のより具体的な取組もあわせて掲載する予定である。 |
| 質問意見： (清水委員) | [P.34 環境意識と行動 D-①古賀市版「環境カウンセラー」の登録制度確立と人材育成] 古賀版環境カウンセラーについて。古賀版カウンセラーとしての研修会が必要ではないか。 |
| 質問意見： (仁科委員) | 古賀版カウンセラーとして、どういう人を認定するのかの基準が必要。 |
| 質問意見： (清水委員) | 基準は、環境省版環境カウンセラー制度に準じて作成できるのではないか。 |
| 質問意見： (水上委員) | [P.4 自然環境 B-①農地の保全と有効活用] 後継者がいないというのが一番の問題。人材不足である。 |
| 質問意見： (渡委員) | [P.5 自然環境 B-②森林・松林の適正な管理と保全] 森林保全について。国（林野庁）も力を入れているところであり、市として独自の事業を検討してほしい。 |
| 質問意見： (柴田委員) | [P.24 資源循環 A-①生ごみを減量するための水切りやマイバックなどの啓発促進（家庭系ごみ）] 生ごみ処理機実態調査を活用した啓発活動をスケジュールに記載してほしい。 |
| 質問意見： (田中委員) | 生ごみ処理機だけでなく、他の方法についての記載はないのか。 |
| 質問意見： (小野会長) | 事務局へ意見として提出願う。 残りのシートについては、8月29日までに意見を提出願う。 |
| 事務局： (長崎係長) | できるだけ具体的に記載したいと考えているが、環境報告書において、実施計画をふまえた実績と翌年度の取組を記載したいと考えている。 |
| 質問意見： (田中委員) | [P.4 自然環境 B-①農地の保全と有効活用] 市民農園開設に向けたあっせん 相談スケジュールが掲載されていない。 |
| 回答： | 確定していない。 |

(2) 平成26年版古賀市環境報告書（案）について

～事務局より説明～

| | |
|-----------------|---|
| 質問意見： (大坪委員) | [P.103] 資源回収ボックスの設置。 平成23年度以降減少傾向との記載があるが、25年度は増加している。 |
|-----------------|---|

| | |
|-----------------|---|
| | <p>[P. 101 102]ペットボトルほぼ変わっていないが、P. 103 にはペットボトルの回収量が増加しているとの記載がある。</p> <p>「継続的に回収ボックスを設置しており、定着している」との表現でよいのでは。表現を精査願いたい。</p> |
| 回答： | 修正する。 |
| 質問意見： (渡委員) | [P. 35] エネルギー使用量。灯油だけが増えている理由は。 |
| 回答： | 調査する。 |
| 質問意見： (森田委員) | [P. 9 No. 66] 賦存量調査だけでなく廃棄物資源化のあり方の方向性を研究し、今後も調査継続していくとの記述にしてほしい。 |
| 回答： | 修正する。 |
| 質問意見： (嶺井委員) | [P. 59] PM2.5 について。環境報告書は市民も見ることができるので、古賀市のPM2.5 年間データを掲載してはどうか。 用語解説にPM2.5 が掲載されていない。 |
| 回答： | 検討する。PM2.5 については、古賀市に測定局が設置されておらず、宗像と香椎の測定局の値を参考にしている。古賀市のホームページからも確認できるので、ご利用いただきたい。 |
| 質問意見： (柴田委員) | [P. 130] 用語解説。は行に「レッドデータブック」が掲載されている。 |
| 回答： | 修正する。 |
| 質問意見： (大坪委員) | [P. 18 No. 138] 小動物飼育小屋について。花鶴小では飼っていないなど文章が実態と合っていない。学校教育課の意向はどうなっているか。 |
| 回答： | 御意見を学校教育課へ伝える。 |
| 質問意見： (柴田委員) | [P. 18 No. 138] 建設課 花鶴浜公園 実施済みであるのに「実施していない」に○が付されている。 |
| 回答： | 確認し修正する。 |
| 質問意見： (仁科委員) | [P. 31] 小型家電。投入口の大きさは国が決められているのか。市で決められているのか。 |
| 回答： | 新宮町（構成市町でありモデル事業で先行実施）の動向を踏まえて決定した。 |

11：45 閉会

※次回の審議会は、平成 26 年 11 月を予定